

..... お詫びと訂正

「腎と透析」98巻5号（2025年5月増大号）に、下記の誤りがありました。
深くお詫びしてここに訂正いたします。

609 ページ

左段上から 12～13 行目

LEAD において、図 5¹⁹⁾ に示すように、一次 CPP から二次 CPP への変換を阻害することにより、血管中膜でのハイドロキシアパタイト結晶の沈着を**促進**し、中膜石灰化を抑制する。

610 ページ

図 5 PAD に対する Mg^{2+} の保護作用

Mg^{2+} は、一次 CPP から二次 CPP への変換を阻害することにより、中膜におけるハイドロキシアパタイト結晶の沈着を**促進**し、内膜石灰化を抑制する（右側）。

誤：ハイドロキシアパタイト結晶の沈着を「促進」し

正：ハイドロキシアパタイト結晶の沈着を「阻害」し

718 ページ 7 行目

SGLT2 阻害薬の起点は、L. G. de Koninck (1809–87) & J. S. Stas (1813–91) による Phlorizin (リンドゴの根由来物質) の発見 (1835)¹⁰⁾。

誤：文献 10)

正：文献 11)

718 ページ 10 行目

D. D. Van Slyke (1883–1971) がクリアランス (1928) の概念を提唱し、H. W. Smith (1895–1962) がイヌリン (尿細管での再吸収・分泌がない非体内物質) を採用したことで、GFR 測定精度が著しく向上した¹¹⁾。

誤：文献 11)

正：文献 10)

.....